

第3学年 英語科 シラバス（学習の進め方）

名張市立 桔梗が丘中学校

1. 英語科の目標

- 英語学習を通して、外国や自国の言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
- 国際語としての英語を学びながら、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

2. 身につけたい力

Listening(聞くこと)	○日本や世界が抱える問題などについての会話やスピーチ、講演を聞いて、概要や要点をとらえることができる。 ○社会的な話題についての会話やスピーチなどを聞いて、要点をとらえることができる。 ○社会的な話題についてのディスカッションやニュースなどを聞いて、要点をとらえることができる。
Reading(読むこと)	○日本や世界が抱える問題について書かれた新聞記事や説明文などまとまりのある文章を読んで、概要や要点をとらえることができる。 ○社会的な話題についてのレポートや伝記などまとまりのある文章を読んで、要点をとらえることができる。 ○社会的な話題について書かれた説明文などまとまりのある文章を読んで、要点をとらえることができる。
Speaking(話すこと)	
●Interaction (やりとり)	○日本や世界が抱える問題について内容を整理し、メモなどを活用しながら、たずねたり答えたりすることができる。 ○おたがいの理解を深めるために、社会的な話題について聞いたり読んだりしたことをもとに伝え合ったり、たずねたり答えたりすることができる。 ○自分の願いや賛成や反対の意見を述べ合うことができるように、社会的な話題について聞いたり読んだりしたことをもとに、考えを整理して話し合いをすることができる。
●Production (発表)	○メモなどを活用しながら、日本や世界が抱える問題について具体例や自分の経験などを加えて話すことができる。 ○自分の意見などを伝えるために、聞いたり読んだりしたことをもとに、社会的な話題について事実や考えなどを整理して、まとまりのある内容を話すことができる。 ○社会で起きていることなどについて賛成や反対の意見を述べるように、社会的な話題について聞いたり読んだりしたことをもとに、事実や考えを整理して、まとまりのある内容を話すことができる。
Writing(書くこと)	○日本や世界が抱える問題について、具体例や自分の経験などを加えてまと

	まりのある文章を書くことができる。 ○聞いたり読んだりしたことをもとに、社会的な話題について事実や考えなどを整理して、まとまりのある文章を書くことができる。 ○社会的な話題について聞いたり読んだりしたことをもとに、自分の考えや気持ち、その理由などを整理して、まとまりのある文章を書くことができる。
--	---

3. 学習内容

1学期	・既習事項の復習 ・現在完了形（経験用法、完了用法、継続用法） ・現在完了進行形 ・SVOC（C＝形容詞） ・SVOO（that節） ・It is ...(for+(人など))+to ・want+(人など)+to ・let [help]+(人など)+動詞の原形
2学期	・間接疑問文 ・SVOO（what節） ・過去分詞、現在分詞 ・名詞を修飾する文（接触節） ・関係代名詞who、that [which]（主格・目的格） ・主語を説明する関係代名詞
3学期	・仮定法(I wish I could [had]...), (If+主語+were ..., ~), (If +主語+動詞の過去形, ...) ・既習事項の復習

*Exerciseでは、Real Life EnglishやALTの授業を中心に行います。

4. 使用教材（毎日の授業に必要なもの）

教科書	NEW HORIZEN English Course 3（東京書籍）
補助教材	JOYFUL WORK3（新学社）、繰り返し語順トレーニング3（新学社）
ノート	英語マスターノート（授業用ノート）
ファイル	ワークシートをとじるファイル（Standardはブルー、Exerciseはピンク）

5. 評価の観点と評価の方法

評価の観点		評価の方法
① 知識・技能	- 英語に関する基礎的な知識(単語・語句・文法など)を理解し、適切な使い方ができる。 - 会話文や説明文などの英語の情報を目的に応じて正しく読み取ることができる。 - まとまった英文を読み、それに関する質問に答えることができる。 - 正しい発音や自然な速さで話されたり読まれたりする英語を聞いて、具体的な内容や大切な部分を聞き取ることができる。	【定期テスト・小テストなど】 - 学んだ文法事項について理解している。 - まとまった英文を読み、それに関する質問に答えることができる。 - 英単語の意味やつづりが正確に書ける。 - 英文を聞き取り、その内容を正しく理解することができる。
② 思考・判断・表現	- 自分の考えや気持ちが相手に正しく伝わるように話したり、書いたりすることができる。 - 聞いたり、読んだりしたものについて、意見を言うことができる。 - 発表する際に、大きな声ではっきりと話すことができる。	【定期テスト・小テスト・音読テスト・発表など】 - 場面に応じて、適切な表現を話したり、書いたりすることができる。 - 英文を読み、内容を理解し、それについてのまとめを書いたり発表したりすることができる。 - 左記の評価項目にあるような点に気をつけて、英文を聞きとったり、読みとったりすることができる。
③ 主体的に学習に取り組む態度	- 積極的にコミュニケーションを図ろうと努力している。 - 話し手に聞き返すなどして内容を理解しようとしている。 - 発表、学び合い学習、ノート作りなどを行っている。 - 言語とその背景にある文化について理解している。	【授業中の発言・態度】 - 授業内容を集中してよく聞き、自分の思いや考えを発言しようと意欲的に取り組んでいる。 - コミュニケーション活動への取り組み(発音練習やペア、グループでのコミュニケーション活動)に積極的に取り組んでいる。 - 与えられた例をもとに、さらに自分なりの追及や発展をした表現方法・表現内容に挑もうと努力している。 - 家庭学習課題や提出物、準備物が確実であり、今学習していることは何であるかを意識して授業に臨んでいる。

6. 学習方法についてのアドバイス

<授業>

1. ペア、グループワークに積極的に参加しよう。

習った英語表現を定着させるために、時間を有効に使い、繰り返し練習しよう。

2. 英語は積み重ねの教科なので、わからないことをそのままにしない努力をしよう。

授業の中で理解できないことがあったら、その場で先生やなにかまに質問しよう。

A L Tの先生に積極的に話しかけてみよう。

<家庭学習>

1. 予習・復習をしっかりとやろう。

○予習として、本文写しや単語の意味調べを確実にして授業に臨もう。

○授業で習ったところはその日のうちにノートやワークで確認し、繰り返し復習しよう。

テストで間違えた問題は、次回のテストにむけて復習しておこう。

A) 単語や本文の英語の練習は、必ず発音し、意味を考えながら書くようにしよう。

B) 既習の単語リスト、プリントを活用し、何度も繰り返し音読練習しよう。

C) 学習した文法事項を定着させるために、ワーク(問題集)を使い繰り返し練習しよう。

2. 映画や洋楽、テレビやインターネットの英語番組を通して、生の英語に触れる機会を作ろう。